

施設概要

(令和8年3月31日現在)

施設名 青少年女性センター (白井市福祉センター内)		開館時間 午前9時～午後10時		
所在地	〒 270-1415	併設施設	老人福祉センター 就労継続支援B型事業所みのり(福祉作業所)	
	白井市清戸766-1			
TEL	047-492-2022	FAX	047-492-2021	
メール	fukushi-c@shiroishakyo.or.jp			
休館日	日曜日・国民の休日 12月29日～翌年1月3日	駐車場	60台	
職員構成	センター長1人・事務職員1人・事務職員5人(非常勤)・用務員1人(非常勤) 合計8人 (老人福祉センター兼務)			
貸出施設	1時間あたりの施設利用料(社会教育認定団体は2分の1)			
	施設名	定員	9:00~22:00	
	研修室	36人	320円	付帯設備 ・机12台・椅子36脚 ・ビデオ1台・テレビ1台・ピアノ1台
	会議室	36人	320円	・机12台・椅子36脚
	調理室	36人	720円	・調理台6台・椅子36脚
	レクリエーション ホール	139人	1450円	・バレーボールコート1面 ・バドミントンコート2面 ・卓球台6台
		人	円	
		人	円	
※利用料金については、令和7年4月1日から変更となりました。				
貸し出し 可能備品	プロジェクター・スクリーン			

令和7年度 公民館等団体別利用状況
(青少年女性センター)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	3	35	45	515	23	232	14	104	9	104	6	31	100	1,021
5	0	0	40	402	13	234	13	103	11	185	2	3	79	927
6	1	17	44	498	18	164	9	85	21	272	7	35	100	1,071
7	1	15	49	639	22	200	11	89	8	123	12	73	103	1,139
8	0	0	36	309	24	253	8	66	11	108	6	45	85	781
9	1	1	39	477	24	206	7	85	24	514	4	48	99	1,331
10	1	10	46	608	20	164	8	88	32	412	5	24	112	1,306
11	5	100	48	520	18	152	10	102	17	203	2	2	100	1,079
12	3	43	35	411	20	161	9	107	18	335	2	2	87	1,059
1	4	100	33	312	18	164	13	135	10	140	1	3	79	854
2	6	109	30	336	16	139	10	98	7	72	2	3	71	757
3	11	284	36	335	22	202	13	109	15	229	6	27	103	1,186
合計	36	714	481	5,362	238	2,271	125	1,171	183	2,697	55	296	1,118	12,511
令和6年度・令和5年度それぞれの合計														
R6	21	348	500	5,593	249	2,211	155	1,517	205	2,799	88	539	1,218	13,007
R5	38	316	500	5,130	231	1,761	160	1,392	188	2,642	90	241	1,207	11,482

年間利用率は、小数点第1位まで記入してください。(小数点第2位を四捨五入)

令和7年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
研修室	301	2,286	20.2
会議室	187	1,521	11.8
調理室	26	331	4.4
レクリエーションホール	615	8,373	43.5
合計	1,129	12,511	
令和6年度・令和5年度それぞれの合計			
令和6年度	1,218	13,007	
令和5年度	1,207	11,482	

令和7年度青少年女性センター事業報告

1 運営方針

(1) 全体の運営方針

- ・「住民1人ひとりの福祉ニーズに対応し、みんなが安心して暮らせるまちづくりの実現」を目指し取り組む。
- ・「誰もがありのままにその人らしく」をコンセプトに、子どもから高齢者までの各年齢層が気軽に参加・交流できる事業の実施。
- ・青少年の健全育成や女性の社会参加、高齢者や障がい者の社会活動としての役割を担う。

(2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ①子育て世代が交流し悩みや解消できる機会をつくる。 ②子育てを通じて男女共同参画の推進を図る。 ③家事や育児に男性参加を促し固定的性別役割分担意識の解消を進める。
青少年教育 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ①市内の小学生を対象に、交流の場を設け仲間づくりを推進する。 ②市内の小学生を対象に体験を通して学習し興味を促す。 ③中学生以上を対象とした、進路にも繋がる体験学習の場を提供する。 ④子どもの自立と家事参加を応援する。
成人教育 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ①再就職を目指す女性にスキルアップやキャリアアップのための学習ができる機会をつくる。 ②自立が困難な母子家庭の母親やDV被害者の女性を優先し、自立支援を行う。 ③人とのコミュニケーションが苦手等働きづらさに悩む若い女性の居場所づくり ④地域で自分らしく生き生きと働けるようワーク・ライフ・バランスを推進する。 ⑤女性のための生涯学習の場を提供する。 ⑥地域住民が集い、コミュニティーの場を提供する。
団体育成 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ①学習成果の発表の場を提供し、団体活動の支援をする。 ②対人関係が苦手なかなか社会に参加することが難しい女性に交流の場を提供する。 ③障がい者のための生涯学習を支援する（余暇活動）

- (3) 令和7年度 重点的に実施した項目（講座・事業など）
 ・興味関心のもてる男女共同参画推進に向けた講座の実施。

2 青少年女性センター講座実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学習講座名	運営目標	回数	参加人数
家庭教育 (1)	親子 書写講座	①	1	6組12人
	親子 陶芸教室	①	2	5組10人
	親子協力！本格肉まん作り講座	②・③	1	3組7人
	親子チャレンジ クリスマス・キャンドルホルダー作り	①	1	4組8人
青少年教育 (2)	中高生向け体験講座 理系ナビ DNA 抽出実験	③	1	7人
	小学生向け体験講座 「プログラミングで作って遊ぼう」	②・④	1	1人
	小学生向け体験講座 きっずトライ	①・②	1	8人
	小学生向け体験講座 親子バイオ実験教室	②・④	1	26人
成人教育 (3)	子育て支援講座	⑥	1	5人
団体育成 (4)	こころのcafé	②		中止

(2) 講座以外に行った事業

事業名	参加人数
センターフェスティバル 9月27日	353人
クリスマスコンサート（福祉作業所との合同事業）	150人

※参加人数については、人数を把握している（おおよその人数を含む）場合のみ記載

(3) 情報の提供

- ・ 月初に当センターの情報誌、清戸の杜の発行（年 12 回）
- ・ 講座・行事情報は広報しろい、社協しろい、社協 HP、市 HP、市 SNS 配信にて情報提供
- ・ 各講座のチラシを作成し、関係機関に配布、掲示の依頼
- ・ 就労に関する情報提供

(4) 施設の提供

- ・ 青少年および女性団体、グループで使う施設の提供
- ・ 青少年の健全育成に携わる者が行う会議等のための部屋の提供
- ・ 青少年の健全育成及び女性の社会活動に資する情報及び資料の提供
- ・ ご意見箱を設置し利用者からの意見や要望を聞き、改善することでより良い施設の提供

3 事業の評価

(1) 分野別方針

	評 価
家庭教育 (1)	おやこチャレンジと称した体験講座は、今後も内容を変え継続していく 親子陶芸教室はたいへん好評で継続開催を要望された
青少年教育 (2)	小中学生の講座は、例年より参加者が少なく、内容、周知等を見直すきっかけとなった 理系ナビ講座は好評だった プログラミング講座は、例年参加者が多く人気だったものの今年度は参加者が少なかった
成人教育 (3)	事業内容、周知の仕方を引き続き検討していく
団体育成 (4)	こころのcaféについて、問い合わせはあるものの、開催までには至らなかった

(2) 令和7年度重点的に実施した項目（講座・事業など）

評価
・ 子どもから、大人までが参加できる体験講座や交流事業を実施し、世代を超えた交流の機会づくりに重点的に取り組んだ

講座・学習プログラム【家庭教育】

講座名	おやこチャレンジ「親子書写講座」		
対象	市内小学生（3・6年生）と保護者		
募集人数	8組16人	参加人数	6組12人
事業の課題と目標	<p>・ 広報で有効な手段は、公式LINE等のSNSである。今回、それを活用できなかつた。 ・ 各小学校校長にチラシを送付して周知をお願いした。配布は不可欠だった。</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世代が交流し悩みや不満を解消できる機会を作る。 ・ 子育てを通じて男女共同参画の推進を図る。 ・ 家事や育児に男性参加を促し固定的性別役割分担意識の解消を図る。 		
学習期間	5月17日	学習場所	会議室
回数	1回	講師	森 嶺雲氏
学習内容	文字を綺麗に書くこと、自分の名前をきれいに書くことを学ぶ		
予算	支出総額：7,000円 内訳：講師料 7,000円 その他事業費 0円	決算	支出総額：7,000円 内訳：講師料 7,000円 その他事業費 0円
	参加者負担金		参加者負担金
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・ いっしょに学ぶことができるように、参加者を小学3年生から6年生に限定した ・ 小学生は学校で使用する2B鉛筆とし、保護者はボールペンを使用いただいた 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者アンケートによると、全員がチラシを見ての参加だった。全参加者大好評であった。 ・ 講座中親子での会話もみられ、交流の場を設けることができた。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 		

講座・学習プログラム【家庭教育】

講座名	おやこチャレンジ「親子陶芸教室」		
対象	市内小学生とその保護者		
募集人数	5組10人	参加人数	5組10人
事業の課題と目標	<p>・ 広報で有効な手段は、公式LINE等のSNSである。今回、それを活用できなかつた ・ 各小学校校長にチラシを送付して周知をお願いした。配布は不可欠だった</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者同士交流し、作品作りへの興味関心をもってもらおう 		
学習期間	7月22日・8月5日	学習場所	作業室
回数	2回	講師	陶芸火曜会さん
学習内容	親子で陶芸を体験しながら、親子それぞれが自分たちの作品を作る		
予算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	決算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円
	参加者負担金 1組1,500円		参加者負担金 1組1,500円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師のみなさんに丁寧に指導していただき、参加者全員楽しんで体験できた。 ・ 10組中9組が、広報しろいを見て応募された。チラシは1組だった。 ・ 午前と午後の講座は時間調整がしやすく助かったと。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 		

講座・学習プログラム【家庭教育】

講座名	親子で協力！本格肉まん作り講座		
対象	市内在住の小学生親子		
募集人数	10組	参加人数	3組7人
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家族での時間づくり ・子育て世代が交流し悩みや不満を解消できる機会を作る。 ・親子で協力して楽しみながら料理をしてもらう 		
学習機関	2月28日	学習場所	調理室
回数	1回	講師	吉原 美智子氏
学習内容	親子で協力して、肉まんを作りいっしょに食べる。		
予算	支出総額：7,000円 内訳：講師料 7,000円 その他事業費 0円	決算	支出総額：7,000円 内訳：講師料 7,000円 その他事業費 0円
	参加者負担金 1組1,000円		参加者負担金 1組1,000円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅でも作れるようにレシピの配布をした。 ・参加者間の調理工程のずれを出さないように先生に見て回っていただいた。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が少なかった。広報しろいを見て参加されたのは1組だった。 ・参加者全員が楽しかったと回答され、親から見ても子供は楽しく受講していたと評価。 ・次回の講座も、いろいろな食べ物をリクエストされた。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校へのチラシ配布や少人数の講座で市SNSへの掲載もできず集客に苦労した。 		

講座・学習プログラム【家庭教育】

講座名	おやこチャレンジ「クリスマスマスキャンドホルダー作り講座」		
対象	市内小学生と保護者		
募集人数	10組20人	参加人数	4組8人
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・講座参加者の偏りをなくす ・自分で考えて作るものづくりへの関心をもってもらう 		
学習期間	12月6日	学習場所	作業室
回数	1回	講師	臨床美術士 佐野 円氏
学習内容	自分だけの手作りクリスマスマスキャンドホルダーを作る		
予算	支出総額：9,000円 内訳：講師料 9,000円 その他事業費 0円	決算	支出総額：9,000円 内訳：講師料 9,000円 その他事業費 0円
	参加者負担金 1,000円		参加者負担金 1,000円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者アンケートによると、広報を見ての参加は1人だった ・親からみて子供が自分で考えて楽しそうに受講していたと全員が回答された。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 		

講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	きつずトライ!		
対象	市内在住の小学3年生～6年生		
募集人数	20人	参加人数	8人
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの歴史勉強への興味関心の低下 文化財事業の一環として、勾玉に興味を持ち歴史好きになってもらう。 		
学習期間	8月25日	学習場所	会議室
回数	1回	講師	千葉県教育庁教育振興部文化財課
学習内容	・勾玉つくりを学びます		
予算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	決算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円
	参加者負担金：300円		参加者負担金：300円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 参加申込9人のうち2人がキャンセルしたが、8割が「楽しかった」「また来たいと思った」と回答 古代のアクセサリーである勾玉作りを通して、歴史に関心を持ってくれたと思う 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 参加費300円は勾玉キット（勾玉、ひも、紙やすり）の支払代金とした 千葉県教育庁教育振興部文化財課への「土器と古代“宅配便”」申し込みは3か月前に行った 		

講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	小学生向け体験講座 「プログラミングで作って遊ぼう！」		
対象	市内在住の小学3年生以上		
募集人数	10人	参加人数	1人
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> 体験学習の場が少なくなっている プログラミングへの興味と電子工作によるものづくりの楽しさを体験してもらう 		
学習期間	8月7日・8日	学習場所	研修室
回数	1回	講師	電子工作研究会
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 回路図を見て工作品を作る パソコンでプログラミングして、作品にアップロードして動かしてもらおう 		
予算	支出総額：14,000円 内訳：講師料 14,000円 その他事業費 10,000円	決算	支出総額：14,000円 内訳：講師料 14,000円 その他事業費 8,945円
	参加者負担金：1,500円		参加者負担金：1,500円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の「見学は良いが、手出しは厳禁」を守っていた 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> プログラミングに興味をもってもらった。 アンケートより、「チラシを見て面白そうだったので参加した。」「内容は易しく楽しかった。」「今後チャレンジしたいのは、遠隔操作による自動車運転」 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 例年定員に達する講座だったが、今年度は申込が少なかった 周知方法・内容を改める機会となった 		

講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	中高生向け体験講座 理系ナビ「DNA抽出実験」		
対象	市内在住の中・高校生		
募集人数	15人	参加人数	7人
事業の課題と目標	事業の課題と目標 ・実験学習の場の減少 ・抽出実験の原理を理解し、DNAについて理解をする。		
学習期間	8月6日	学習場所	調理室
回数	1回	講師	笹川由紀氏
学習内容	・基礎編、応用編と称してDNA抽出実験をおこなう		
予算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	決算 支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	参加者負担金：0円
事業参加者への配慮等	・中、高校生、交流を深めるねらいで座席配置は異なる学生同士をグループینگした。 ・サポートが必要なため、ボランティアを4名募集した。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・講座の満足度：大変満足6人、満足1人だった。 ・「科学がもっと知りたくなった」「DNAを見ることがすごいな」と思った「普段できない実験ができて満足」といった意見をいただいた		
備考	・ ・		

講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	親子バイオ実験教室		
対象	小学生とその保護者		
募集人数	午前12組、午後12組	参加人数	午前7人、午後19人
事業の課題と目標	事業の課題と目標 ・実験をすることに対するの苦手意識をなくす ・講座を通じて実験の楽しさを知ってもらう		
学習期間	7月29日	学習場所	調理室
回数	午前、午後2部制	講師	NPO法人ぐらしとバイオプラザ21 常務理事 佐々義子氏
学習内容	・キッチンで化学の実験をしよう・乳化を学び、試食をします		
予算	支出総額：10,000円 内訳：講師料 10,000円 その他事業費 0円	決算 支出総額：10,000円 内訳：講師料 10,000円 その他事業費 1,430円	参加者負担金：300円/人
事業参加者への配慮等	・ ・		
事業の成果（課題や目標に対して）	・講座終了後のアンケートには、とても楽しかったと回答者が大半であった		
備考	・ ・		

講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	子育て支援講座「ママの心と体をふわっとゆるめるセルフケア講座」		
対象	子育て中の母親		
募集人数	10人	参加人数	5人
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の交流の機会の減少 女性として抱える悩みの解消 		
学習期間	令和8年2月27日	学習場所	研修室
回数	1回	講師	JHA 日本グリーンハートセラピスト協会 理事長 宮内典子さん
学習内容	リンパ・ツボ・言葉の優しさで自分に寄り添う時間をつくる		
予算	支出総額：12,000円 内訳：講師料 12,000円 その他事業費 0円	決算	支出総額：12,000円 内訳：講師料 12,000円 その他事業費 0円
	参加者負担金：1,500円		参加者負担金：1,500円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 広報しろいを見えて参加されたのは1人だけで、4人は友人の誘いだった 次回講座への参加希望は5人全員だった 今回の講座内容にはポジティブに生きる方法のヒントが散りばられており、参加者からは大変好評だった 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 今回内容を異なる形で計8回を予定していたが、うち2回は申込0、講師の都合により講座開催が叶わなかった 		

事業活動

事業名	福祉センターフェスティバル		
対象	どなたでも		
参加人数	来場者 353人		
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> 利用団体の発表の場の提供 目標 <ul style="list-style-type: none"> 地域住民の集い場として、交流や親睦を深め、利用促進につなげる 世代を問わず、多くの方に参加してもらえるイベントにする 		
期間	令和7年9月27日（土）	回数	1回
場所	白井市福祉センター		
事業内容	当館利用団体や地域団体による発表、展示、販売		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 事故やケガが無いよう準備を進めた 実行委員会形式で計画をし、参加者で作り上げるイベントとした 参加者説明会での出店者全員に共通認識をもってもらうこと 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 前日準備からフェスティバル終了にかけての搬入人がスムーズにおこなえた 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 		